

## 第4回 湖西市定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

開催日時	平成26年9月29日(月)午後1:30~午後3:00
開催場所	湖西市役所2階 市長公室
委員	(出席者) 10人 (欠席者) 1人 (事務局) 4人
<b>内 容</b>	
<b>1 事務局のあいさつ</b> 今回の懇談会は、1年を経過したビジョンの時点修正を目的として開催。 (新しく委員になった方のために定住自立圏制度の説明。)	
<b>2 委員の紹介</b> 新任委員の紹介	
<b>3 議題</b> (1) 定住自立圏共生ビジョン修正(案)について ①修正箇所について事務局が説明  <b>(質疑応答)</b> 委員長: 新しい追加事業はあるか。 事務局: 追加事業はなく、事業費のみの変更。前年度の計画よりも1億円ほど増加する見込み。 委員: 毎年、懇談会で各事業の進捗よく状況の報告をするのか。 事務局: はい。では具体的に事業の内容を分かる範囲で説明をします。 (主な事業費の変更箇所について、変更理由を説明) 委員: 年度によって、事業費がゼロなど、ばらつきがあるがなぜか。 事務局: 事業費0円は消防団拠点施設と通信指令装置。通信指令装置については導入後、2年間は維持管理費がかからないため。 委員: 区画整理費について、どのような計画か。 事務局: H27・28に環境アセス準備・調査を行う。工事はまだ行わない。 時点修正のため金額を変更したが、また来年数字は変更する可能性がある。 委員: 毎年の所要の見直しは、取組事業の進捗状況の確認ということでもいいか。 事務局: 毎年計画を作り直すのではなく、修正箇所と進捗状況について、懇談会で懇談し承認をしていただきたい。 委員: 交付金との関係で事業費の上限はあるのか。 事務局: 取組事業に対する市の上限はない。一部が交付金として財政支援が受けられる。 委員: 入出線バスの撤退表明があったが、10月からのバス事業の路線等はどうなって	

いるのか。

事務局：10月以降の撤退路線については遠鉄タクシーで行う。それ以外は市営バス（コーちゃんバス）で運行する。高齢者には助成券を配布。

委員：バスの利用者が少なくなっている。赤字になってしまう。

市民の利用となる時間帯の運行を。特に一人暮らしの高齢者が増える傾向にあるので、バス事業について考えてほしい。

また軽トラックによる高齢者世帯への野菜販売などの事業をしたらどうか。

若い人だけでなく、高齢者の定住の施策として必要ではないか。

事務局：1路線1千万円くらいかかっている。バスの制度設計については、地域公共交通会議で、利用者数やアンケートをとり、毎年路線の見直しや時刻表の見直しなどを行っている。事業の継続・廃止については、その評価を基に審議していくことになる。

高齢者のことを考えたバス事業は定住の考えには重要であり取り組んでいきたい。

委員長：地域公共交通会議という専門部会があるので、そこで議論していただく。

そちらにこの意見を伝えてほしい。

## (2) 湖西市の人口と定住について

### ①資料数値について事務局が説明

#### (フリートーク)

委員長：前回の懇談会の中で、各分野の代表者がいるので、フリートークをする時間があつたらよかったという意見があつたので、どんな湖西市になったら良いか、など各分野でフリートークの時間を設けるので、意見をお願いしたい。

私は自治会の代表であるが、現在自治会の役員に女性が1人しかいない。

いろいろな場面で女性が参画できる体制づくりをしてほしい。

委員：定住の基本はいい環境で生まれ、いい環境で死ぬということ。

委員：子育て支援予算が前年より減額されているが、子育て支援が対策の根本ではないか。子どもの人口が減るからといって予算を減らさないでほしい。

働きながら子どもを育てるのは大変。企業の協力も必要。子育て支援を進めてほしい。働くために高齢者を施設に預けたくても、受入側も人出不足。

行政には福祉業界の現場の理解をしてほしい。

委員：安心して遊べるコミュニケーションのとれる街、地域で子どもを育てる魅力ある街になれば、子どもが都会にでも帰ってくる街になると思う。

委員：働く環境の整備、子育て支援・保育所の充実などの福祉の充実が定住には必要。他の市町で、子育て支援を手厚くしているところは人口が増えている市町があ

る。

もうひとつは、観光振興について。今後はオリンピックの開催もあり、外国人観光客の増加が予想される。観光流入をひとつの施策としておもてなしのまちづくりができれば、魅力を感じて定住する人もでてくるのではないか。

委員：農業の面では、後継者や農地が減っている。

湖西市をどうしたいのか、農地を減らしても工業や観光を進めるのか、農業が減っていったいいのか。農家としては難しい。人口増加が本当にいいのかも疑問。

委員：子育て支援と高齢者支援がこれからは大切な視点。

補助金ありきでなく、地域でまちづくりを進めるべき。

こういう会議も子育て中の母親や元気な高齢者や障害者の方に参画してもらえたらよいのだが。

地域創生で、ふるさと納税の特典で特産品を贈り活性化している事例があるが湖西市でもやったらどうか。

事務局：現在、ふるさと納税の特典については検討中である。

委員：女性の活躍している街は、活性化している。市内の能力のある女性を上手に発掘してほしい。

委員：自分で湖西市に住んでみて良い街だと思う。

ただ同じ会社の従業員は、豊橋や浜松に住む割合が多い。

理由は定かではないが住宅施設が整っていないのか、土地が高いのか。実際に自分が住んでみて臭い対策も問題ではないかと思う。愛知県では臭い対策としてし尿処理の浄化槽を検討した。また従業員の中には湖西市では助産施設がないので豊橋や浜松で分娩し、子育ても別の市でする人がいる。そういった生活の課題がみえてくるので、より住みやすい街になるようビジョンに反映してほしい。

委員：バス路線については他の市町も赤字路線はある。少子高齢化だけの問題でなく、軽油高や運転者不足などの問題もある。

現在の国の補助制度の考えは、過疎地域に対してではなく、一定の乗客数があり必要性がある路線について補助をする。

入出線については基準の乗客数がなかったなどの事情から撤退するが遠鉄タクシーで引き継ぐ。今は車で移動できるが今後、高齢になった時のことを考え、ある程度の利用をする必要があるのではないか。

委員：救急外来で子どもを病院に連れて行くときに、湖西病院で豊橋・浜松の病院の紹介をしてくれ助かった。湖西市だけですべてを完結するのは、費用的にも難しいので広域連携ができれば、生活の不便や不安を補えると思う。

またふれあい広場など大きなイベントをしていることを知らない市民がいる。

地域の魅力について、ロコミやツイッターなどで情報発信して、多くの人が参加できるようにしてほしい。

#### 4 事項連絡

- ・今後のスケジュール
- ・委員の再任のお願い